

避難指示解除に向けた放射線防護策等について

1. 準備宿泊の実施予定期間について

令和5年3月末までの避難指示解除に向けて、約半年前となる令和4年秋口頃から準備宿泊を実施したいと考えています。

■準備宿泊対象 約900人、300世帯

■平成29年3月31日解除の際には、

平成28年9月1日から26日まで、特例宿泊を実施。

平成28年11月1日から避難指示解除まで準備宿泊を実施。

■準備宿泊の実績（平成28年11月1日から平成29年2月28日）

・申込人数 316世帯 743人

・上記のうち実際に町内へ宿泊した方 249世帯 569人

2. 立入規制緩和について

国が帰還困難区域の住家前等にバリケードを設置し、立入りを強く規制していますが、準備宿泊に合わせてバリケードの撤去を順次行いたいと考えています。

※準備宿泊者を優先し、撤去。

3. 個人積算線量計 D-シャトル「以下、D-シャトル」（資料5-2参照）の貸出

準備宿泊希望者に対し、被ばく線量、日時を記録可能な D-シャトルを貸出します。時間毎の積算線量確認のため、浪江町役場及びつしま活性化センターで定期的に管理機による記録をお願いします。

測定結果による健康相談、異常値による原因を調査し、フォローアップ除染等の対応策を実施します。

■D-シャトルの貸出実績

374件

4.食品検査

自家野菜(販売目的は除く)等の食品検査を実施しています。家庭菜園の再開も予想されるので、広報活動を強化します。

■食品検査の実績

区分	野菜	果実	魚	山菜 きのこ	米	その他	水	合計※
H29	470	309	8	161	4	33	28	1,013
H30	628	425	2	237	11	49	20	1,372
R 元	542	274	2	166	1	34	15	1,034
R 2	224	153	3	126	0	7	2	515
合計	1,864	1,161	15	690	16	123	65	3,934

※R 元年度末で、二本松事務所での検査を廃止し、浪江町役場のみ継続実施。

5.その他

前回の準備宿泊の際には、浪江町近隣にホテル等が無かったため、一時宿泊施設を町で準備し、1人1泊2,000円で利用できました。今回は、準備宿泊するための環境整備が必要な方(準備宿泊登録者)に対して、町及び隣接市町村の宿泊施設に宿泊した費用に対し、補助を実施したいと考えています。

一時宿泊施設 利用実績 (H28年度～H29年度)

■平成28年度

平成28年9月1日 ～ 平成29年3月31日

- ・宿泊利用者延べ人数 904人
- ・入浴施設利用者延べ人数 880人

■平成29年度

平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

- ・宿泊利用者延べ人数 2,062人
- ・入浴施設利用者延べ人数 2,617人